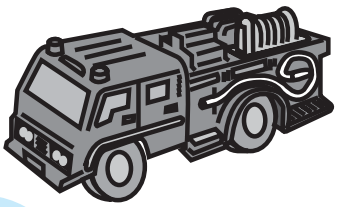
消防だより

お問い合わせ：有田川町消防本部　☎52－5950
吉備金屋消防署　☎52－5950
清水消防署　☎25－1243
ホームページ：http://www.town.aridagawa.lg.jp/others/afd_top.htm

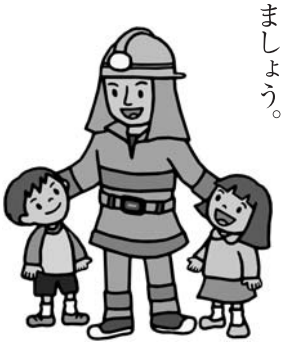


今年の出動等（累計）

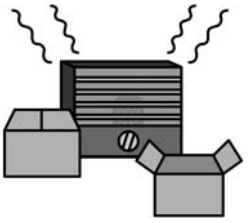
火　　災……１１件
救　　急……１０１９件
救　　助……２０件
病院紹介……２８７件
（平成19年10月31日現在）

冬到来 石油暖房器具などの使用にはご注意を！

寒い季節になり、石油を使用することが多くなりました。この季節は空気が乾燥するため、火災が起こりやすくなっています。石油暖房器具の取扱には十分注意が必要です。使用する際は次の点に注意しましょう。



■暖房器具はカーテンや燃えやすいものの近くで使用しないようにしましょう。



■暖房器具の周りではヘアスプレーなどの引火の危険があるものを使用しないようにしましょう。

■ストーブの上に洗濯物を干さないようにしましょう。

■暖房器具の故障は火災の原因になるので、使用前には十分な点検・整備を行いましょう。

■外出時や就寝時は、必ず消火していることを確認しましょう。

■給油の後は、タンクのふたを確実に閉めましょう。

■取扱説明書をよく読んで、正しく安全に使用しましょう。

■使用時は時々窓などを開けて、十分な換気を行いましょう。

とっさの応急手当　熱性けいれん

「熱性けいれん」は、乳幼児に高頻度でみられるけいれんで、高熱を伴い、眼球は上方を向いて白目となり、体を突っ張らせたり、バタバタさせるなどの症状が出ます。たいていは2～3分で治まります。熱性けいれんは特殊な病気ではなく、ごくありふれた病気といえます。

はじめて見た時は、慌てますが、落ち着いてよく観察し、次の事をしてください。

①けいれんの開始から何分間続いたか、時間を計ります。
②衣服を緩め、顔を横に向かせます。（吐いた場合は、奥に押し込まないように注意しながら、指でかき出します。）
③けいれんが治まったら、熱を計りましょう。そして、あせらずかかりつけの病院で診察を受けましょう。

ほとんどの「熱性けいれん」は後遺症を残すことはありませんが、次のようなけいれんの時は、救急車を呼ぶなどして、緊急に病院で受診しましょう。

①けいれんが5分以上続く。
②けいれんが治まっても、長い間意識が戻らない。
③短時間にけいれんを繰り返す。
④生後6ヶ月以下や6歳以上でけいれんを起こした場合。
⑤けいれんの様子が左右非対称である。

受診するときには、今後、熱が出た時の対応についても相談しておくと安心ですね！